

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科学校内研修支援事業」

実施報告

松前町立松城小学校

*学級数 9 *児童数 191

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道松前高等学校	教頭	金 澤 豪	化学

【本事業のねらい】

観察・実験などの教員の指導力の向上を目的に、小学校第5学年「物のとけ方」の単元の「物が水に溶けていく様子の観察をすること」と「溶ける前後で質量の総和に変化がないこと」について、また第6学年「水よう液の性質とはたらき」の単元の「身のまわりにある水溶液の性質を調べること」と「人と環境」について、研修を実施する。

【実施内容】

12月20日13:30～14:30、松城小学校理科室において、15名の教員を対象に、第5学年「物のとけ方」、第6学年「水よう液の性質とはたらき」の単元の目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、「物の溶け方の観察」と「水溶液の性質を調べる実験」を行い、指導の工夫について確認した。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・面白かったです。普段何気なく見ていることにも理科的な根拠があり勉強になりました。
- ・あっという間に時間が過ぎました。いろいろな実験に食いつくように引き込まれました。特に、危険な薬品を使うことに深い知識が必要であることに気づき、そのような研修があったら進んで参加したいと思います。
- ・子どもの気持ちになって、実験を楽しむことができました。子どもに理科を楽しませるためには、たくさんの知識が必要だと思いました。実験に伴う説明はとても分かりやすかったです。
- ・面白かったです。薬品の管理の大切さがよくわかりました。
- ・今回のような実験を授業の導入に行うと、子どもたちの意欲や科学的な考え方をどんどん伸ばすことができると感じました。
- ・教材教具の準備をしっかりと実験をすることが、子どもの理科的知識を深めることにつながると改めて実感しました。専門的機関を利用して、さらに研修を深めたいと思いました。
- ・酸性やアルカリ性など日常生活で使用されている薬品等についての意味を知ることができてよかった。この経験を生かしてより日常生活に関連した不思議についての授業作りをしていきたいと感じました。
- ・とても勉強になりました。子どもたちに教える学習内容や教材を身近なことと関連させ教えてくれたので大変参考になりました。

【来年度以降の実施に向けて】

本校教諭へのアンケート調査結果から、指導することが困難との声が多かった「土地のつくりと変化」「月と太陽」など、「B 生命・地球」の内容について研修をしたいと考えている。